

鳥根県立大学 第5弾
久保田典男ゼミがゆく!

奉納神楽

体験レポート



◆ 奉納神楽とは ...



ぼくたちがレポートしたよ

今では、イベントなどで沢山見られるようになったけど、本来の神楽のスタイルでもある奉納神楽は、神社などで神様に奉納する舞で、10月～11月に最も多く行われるんだよ。
地元のお祭りとしても、みんなとっても楽しみにしているんだ。そんな「奉納神楽」を地元の人になった気分で体験しちゃおう！
今回、佐野神楽社中さんの奉納神楽に行って来たよー！

奉納神楽作法 5か条



はじめに
チェック!

01 防寒対策を怠るべからず。

奉納神楽は、夜を通して行われます。外からでも神楽が良く見えるよう神楽殿の窓は開け放たれますので防寒対策は欠かせません。毛布やカイロなどの防寒対策はしっかりと。

02 敬神の心を持つべし。

奉納神楽を鑑賞する前には本殿に参拝して鎮守の神様にご挨拶。奉納神楽への気持ちを高めます。作法はお宮によって若干異なる場合もありますが、石見地方のほとんどのお宮では2礼2拍手1礼(2回お辞儀をして2回拍手して1回お辞儀をする。)が作法です。

03 地元の人となかよく。

奉納神楽は地元のお祭りであることを忘れずに。神楽のよく見える場所を独占したり、許可を得ずにカメラをセットするなど身勝手な行動は慎みましょう。わからないことがあれば、気軽に地元の人に声をかけてみましょう。優しくアドバイスしてくれるはずですよ。

04 御花を打つ。

「御花」とは、観客が社中の舞いに対して感謝の気持ちをこめて贈るもの。金額は気持ちですが、だいたい3千円～5千円程度が一般的です。(あくまで任意)。夜通し素晴らしい舞を見せてくれた社中さんへの労いの気持ちを託してみてもいいよ!

05 リラックスして楽しむ。

奉納神楽鑑賞には特に気を使う必要はありません。楽な姿勢で楽しみましょう。激しい神楽を終えた舞子に拍手と一緒に「よう舞(も)うた!!」「よく舞ったぞ!!」と声を掛けるのは最高の賛辞! 舞いの最中にも「ええぞー!!」「もっと舞え!!」など、感動したら思い切って掛け声をかけよう!



これで準備万端!
あとは実際に
行ってみよう!



ぎしきまい
儀式舞



はじめは儀式舞と
いって、幣を使って
神殿を清めていくよ。



これが
幣だよ

この時は
神迎え(かんむかえ)
をみたよー!



のうまい
能舞



能舞とは、ストーリー性のある
神楽のことです。

奉納神楽以外で舞われるのは
ほとんど能舞で、神と鬼(悪者)
が戦いをするという勧善懲悪の物語が
主ですが、農業や、呪いをテーマに
しているものなど様々な演目があります。

兄ちゃん、男前だが、
わしの方が男前だのぉー



茶利舞(ちやりまい)
という、コント
みたいな舞もあるよ



地元のお祭りならでは!!



これぞ
神楽の醍醐味!

1 本当のお酒を
舞う人ものんだりするよ!!



ほんとに
お酒のんですー!



これぞ地元の
お祭りだねえ



2 飲食自由なので
コンビニとかで買って行ってOK

ゴミは持って
帰ろうね



3 夜通し行われるよ!

この日も、17時から0時まで
行われたよ。
舞う方も観る方も眠たくならないように
演目の順番を考えたりもしてるんだって!!



社中さんによっては、
創作演目を舞うところ
もあるよ!



もちろん、
恵比須や大蛇の
演目も♪

奉納神楽もたのしいねー!!
みんなも、地元の人にまじって楽しんでね♪



記念写真を撮りました(^)o(^)
佐野神楽社中さん
本当にありがとうございました!

